

さげへし

2019 JANUARY

NO. 54



「新年を迎えて」

理事長 池ヶ谷 聡



日頃より、社会福祉法人焼津福祉会の事業運営に對しまして、深いご理解とご協力を賜り、この場をお借りして厚く御礼申し上げます。

平成三十一年の年頭にあたり、引き続き皆様方の一層のご支援をお願い申し上げ、ここに一言ご挨拶申し上げます。

さて、「平成」もいよいよ最後の年を迎えました。この平成の時代は、我々社会福祉法人にとりましては、まさに変革の時代であったと振り返ります。いずれにいたしましても、福祉の環境を取り巻く状況は、年々厳しさを増しており、円滑な事業運営に支障を来すことが生じていることも事実であります。

このような状況下ではありますが、障害者の皆様が自立した社会生活を営むことができ、また、様々な人々と地域社会の中で、共生していけるようになることは、私共法人のみならず、ご家族や保護者の皆様にとっても、変わらぬ願いであります。

焼津福祉会では、そのような社会の実現に向け、利用者の皆様が、安心して生活できるような体制づくりを進めております。あわせて、常に利用者の皆様の視点に立った支援に全力を注いでおります。そして、地域で愛される福祉施設を目指すとともに、円滑な事業運営により法人経営のなお一層の健全化を目指し、鋭意努力してまいる所存であります。

結びとなりますが、皆様方の変わらぬご支援をお願い申し上げます。新年がよりよい年となりますことを祈念申し上げ、新年のご挨拶と致します。

2018～2019

虹の家

防災意識を高めました

虹の家では、毎月1回、防災訓練を行っています。毎回、訓練方法をアレンジしながら、訓練にとりくんでいます。又、昨年度より「ウェルシップみおし」本部と3施設で合同の不審者対応訓練をはじめました。定期的な防災訓練では、車いすの方は、総合福祉会館のスロープを使用したり、ヘルメットが苦手な方には、防災頭巾を使用したりと、各利用者さんの状況に合わせて対応しています。また、防災食の炊き出し体験も利用者さんと職員と一緒にいき、様々な体験を通して、防災意識を高めています。



慈恵園

皆で筋力維持

慈恵園では、11月より看護師を中心に筋力維持のための運動を始めました。夕方のリハビリ体操後に放送で呼び掛け、スクワットやお尻の筋肉を絞めた状態でのかかと上げなど様々な運動を行っています。最近では、利用者さん同士で声を掛け合いながら筋力維持運動に積極的に参加する姿も見られています。この運動は、下半身の筋力強化につながることで皆で楽しみながら行っています。



ワークすばる

新しい作業にとりくみました

ワークすばるでは、日々様々な作業にとりくんでいます。ちきり清水商店株式会社様からのお仕事は、贈答品のセット作業が主流です。昨年は価格変更に伴い、商品の入れ替えがありました。新旧の商品の注文が重なる時期があり、間違えないように、いつもより気をつけて作業を行いました。10月、11月は婚礼シーズンで繁忙期となり、たくさんの作業をいただき、作業収入も大きく上がりました。今年も、たくさんお仕事をいただけるよう、丁寧・正確に仕事を進めていきたいと思ひます。



NEW TRY!

大井川寮

毎日体を動かしています

大井川寮では、今年度から作業棟を模様替えし、運動や作業ができるスペースを大きく拡大しました。雨天でも運動出来るようになり利用者さんの機能維持や日課のメリハリに繋がっています。運動内容は利用者さん一人ひとりに合わせた筋力トレーニングや歩行、そして皆さんが毎回楽しみにしているダンスでは、おもいきり体を動かしています。

平均年齢が50.1歳となり、高齢化が進んでいる大井川寮ですが様々な運動を積極的に取り入れ、毎日楽しみながら続けることで、より一層健康で元気な毎日を過ごしています！



ゆりかもめ

ガーデニングをはじめました

ゆりかもめでは、公益財団法人静岡県グリーンバンク様よりチューリップの球根とパンジーの種を頂きました。利用者さんと相談し、ゆりかもめを綺麗な花と緑でいっぱいにしようというとりくみを始めました。

「綺麗な花が咲きますように」とそっと土を掛け、毎日ワクワクしながら、芽が出たときの喜びを感じています。

春には綺麗なピンクと黄色のチューリップ、パンジーがプランターいっぱい咲くことを願ひながら水やりを頑張っています。

ゆたか

ぽぷらの園児と交流をしました

ゆたかでは、ぽぷらの園児さんとの交流を楽しみました！子どもたちとの年齢差が大きく、初めは、どう関わったらよいのか戸惑い、緊張気味でしたが、子どもたちの元気な姿に次第に笑みが…♪魚釣りゲームや音楽に合わせた手遊びやダンスを通じて、賑やかな時間を共有することができ、散歩等で、外で出会った時には、声を掛け合ったり、手を振る仲になりました！今後も、交流の機会を持ち、出逢いを広げ、皆で楽しく歩んでいきたいと思ひます♪



すぴか

すぴかは平成26年4月から障害者総合支援法に基づき、介護サービス包括型共同生活援助事業所として運営しております。開所当時は「すぴか」と「こすも」の2ホームでしたが、平成22年7月に「くれあ」平成25年12月に「かべら」を増設し、現在は4ホーム定員20名となっております。

すぴかは、市民の一人として地域で暮らしていくことができるよう支援することを目的とした共同生活の場です。定員は3・4名で部屋は個室です。日中は会社や就労継続支援事業所・生活介護事業所などに通っています。仕事等が終わりホームに戻ってからは、夕食の買い物や準備・夕食洗濯・入浴などの身の回りのことを世話人や支援員の支援を受けながら生活しています。

入居者の意見を取り入れ、入居者が主体的に生活できるよう支援を行っています。

また、地域住民の「員」として地域との繋がりを大切にするために、地域清掃や防災訓練などの地域活動に積極的に参加をしています。

挨拶や会話を通して地域の方々とコミュニケーションが取れる良い機会となっています。

これからも、利用者さんが地域住民の一人として主体的に安心して暮らしていけるように支援していきたいと思っています。

ゴミの分別もしっかりやります！



栄養バランスのとれた朝食をみんなにいただきます！



夕食も世話人さんと一緒に作ります。



花・はな

地域活動支援センター花・はなは、平成15年6月に身体障害者デイサービスセンターとして、開所しました。その後法改正により、平成19年4月から、地域活動支援センターとして、事業を移行し、18歳から、70歳までの身体障がい者、知的障がい者の方が利用されています。利用者さんの状態に合わせて、創作活動やレクリエーション活動を提供しています。



月に一度の絵手紙 季節を感じる物を描きます

提供しています。特に風船バレー、ボウリングなどが人気のレクリエーションです。また、身体機能の維持の為、散歩やエアロバイク、マッサージ等の運動の機会も提供しています。

様々な活動や行事を通して、利用者相互の交流を深める場としても花・はなが地域で必要とされる存在でありたいと思います。

ぽぷら

市内にある幼稚園とのグループ交流で「花沢の里」にみかん狩りに行ってきました。向かう車の中では「みかん早く食べたいな」と期待いっぱいの子ども達。みかん畑に到着するとみんなの顔はニコニコ！！農家さんから、「クルクル回して採ってください。」の説明を受けていざみかん狩り！「どれにしようかな」とみかんを選ぶ子ども達はどの子も大きいみかんを選んでいました。自分でとったみかんは味も格別！「美味しい〜！」と何度も畑の中にみかんを採りに行く子ども達でした。笑顔いっぱい、とても良い体験ができました。



すいせん

就労の利用者さん・職員で日帰り旅行に行ってきました！！行き先は浜松方面で、浜松楽器博物館や浜松航空自衛隊エアパーク、昼食は浜松名物のうなぎ、午後はうなぎパイファクトリーを見学しました。皆で出かける外出は、お腹も一杯、楽しい1日となりました。



色えんぴつ

色えんぴつの子ども達は公園あそびが大好きです。毎回「今日公園行く!?」と職員に聞いてくる子もいて、公園あそびをとっても楽しみにしています。色えんぴつの周辺にはいくつか公園があり、日によって行く場所を変えています。

公園では滑り台やブランコ、シーソー等、いろいろな遊具であそんでいます。最初の頃は個々であそぶことが多かったですが、今では少しずつ子ども同士の関わりが増え、一緒に楽しむ姿も見られるようになってきました。「おいで〜!」「一緒に行こう!」と誘い合いながら、自然にみんなが集まり、楽しい笑い声が公園に響き渡っています。



焼津福祉会 運動会

10月5日に焼津市総合体育館シールドームにおいて第41回焼津福祉会運動会を開催しました。法人施設が一同に会し、様々な競技を行いました。
利用者さんは皆、白熱した競技に声援をおくり、楽しみな笑顔も見られた運動会でした。



ふれあい広場

10月21日に焼津市総合福祉会館で「ふれあい広場」が開催されました。虹の家、ワークすばる、ゆたか、花・はなの4施設が出店し、自主製品やバザー品の販売、またぼらは園庭の開放をしました。天候にも恵まれ、昨年より多くの方々が来場し交流を楽しんでいました。



大井川フェア

11月3日にミュージコ周辺で開催された「おおいがわフェア」にすいせんも出店・参加しました。出店では、自主製品とバザー品を販売し、毎年参加している方から「上手にできているから」と縫製品の注文を受けることもありました。また、今年は輪投げを行い、子ども達が景品のお菓子やおもちゃ目当てに来店し大盛況となりました。
当日、参加した利用者さんは、出店での買い物や舞台での踊りを見ながら、祭りの雰囲気を楽しむことができました。



総合防災訓練

11月12日焼津市総合福祉会館にて、志太消防本部と連携し総合防災訓練が行われました。今年は、地震車、煙体験そして水消火器での消火訓練も併せて実施しました。体験型の訓練を通じ、消防関係者の方との触れ合いも多く、利用者さんの笑顔と真剣な姿が印象的でした。今後、連携した訓練を重ねることで、災害時の対応に活かしていきたいです。



静岡県健康福祉部長賞受賞

平成30年度静岡県授産製品コンクール（陶芸、木製品部門）ですいせんの動物パズルデラックスが静岡県健康福祉部長賞を受賞しました。自主製品作りを毎日がんばって行っている成果に利用者さん達は大きな励みとなりました。



ぽぷら「発表会」

12月8日に焼津市総合福祉会館多目的ホールにて、発表会を行いました。各クラス本番に向けて練習を重ねてきました。練習とは違い、大勢のお客さんの前での発表は緊張したけれど、どの子も練習の成果を十分に発揮することができました。がんばった子ども達に客席からは、大きな拍手が鳴り止みませんでした。子ども達の表情も達成感に満ち溢れていましたよ。



みんなの心

《寄附金・寄附物品（協力者）》

青島信子
明るい社会づくり運動焼津地区協議会
池田吉博
押尾洋子
小池時義
しおんの会
鈴木恵子
戸本桂子
長岡内科
中島栄子
（株）中島屋ホテルズ
橋本節子
服部寿ツ子
松永洋子
見崎平八
焼津市仏教会
山田悦郎
山田しず江
山田節子
横山隆夫
和洋菓子ヤマカワ
匿名2件

《ボランティア》

青木恵子
明るい社会づくり運動焼津地区協議会
有ヶ谷晴代
飯田千晴
池之谷優
石野邦代
海野ひろみ
em・flat
演奏ボランティア
大坪艶子
大橋道代
大村公民館民謡教室
小澤昌樹
落合圭子
片山さち枝
加藤依子
狩野裕子
kamika美容室
木ノ内加代子
Grimm Hair
けい美容室
小泉菜々
小坂橋道代
孝道山マイトリ―委員会
酒井歯科医院
佐藤泰子
塩沢優花
静岡県眼鏡商業協同組合
シンバ時計店
須田昌恵
曽根 颯
高塚歯科医院
多々良京子
多々良由里子
田中操

塚崎喜美雄

渡仲莉湖
戸本松庭
永田歯科医院
中野富士恵
西尾久美子
ピッターパット
美容室ウルシバタ
藤田さかゑ
ボランティア21
増田温子
松下六夫
水野安代
村松江一
森奈美
焼津黒潮会
焼津高校書道部
焼津市大井川赤十字奉仕団
焼津市ボランティア連絡協議会
焼津市立大村中学校
焼津モラロジー女性クラブ
やきつ美穂
山田あつ子
山田恭子
山本美由紀
吉田翔一
吉田津矢子
渡辺幾江
薬科喜久代
(平成30年6月から
平成30年11月まで)
(以上敬称省略)

全国障害者スポーツ大会

福井県で開催された全国障害者スポーツ大会のボウリング競技青年女子の部に静岡県代表として虹の家の藤田志保さんが出場しました。

試合では、不安や緊張でいっぱいだったようですが、楽しく競技に臨むことができ、結果はみごと1位に輝きました。

報告会では、「家族や関係者からの支えのおかげです。またボウリングを頑張りたいです」と本人からの言葉がありました。



焼津福祉会作品展のお知らせ

施設利用者さんの素敵な作品をより多くの方に見ていただきたいと思えます。是非、ご来場ください。お待ちしております。



日時：平成31年2月28日～3月3日
場所：ふれあいギャラリー
住所：焼津市本町5-1-18
時間：午前9時～午後5時まで
（最終日は午後3時まで）
内容：絵画、書、手工芸 など
連絡先：虹の家（TEL：629-5712）

焼津福祉会 職員研修

11月6日「言葉で人柄がわかる『円滑なコミュニケーション力』」と題して、人材共育®️コンサルタント 株式会社はあもに大野晴己氏山田頼二氏を講師に研修会を行いました。好感を持たれる声の表情と、利用者や家族、職員に共感を得る言葉遣いについて、以前話題となった、DJボリスの警察官の言葉の変換や話す速度、他人に自分がどう見られているか演習を交えて学び、日頃何気なく使っている言葉の重要性を改めて振り返るとも良い機会となりました。



「焼津福祉会を支える会」だより 「支える会」にご理解とご協力を

「焼津福祉会を支える会」

会長 蒔田 龍明

昨年夏より「焼津福祉会を支える会」会長に就任しました蒔田と申します。よろしく願いいたします。さて、平成三十一年の新春にあたり、本年が皆様にとって良き年でありますことを、まずもって祈念申し上げます。

私たち「焼津福祉会を支える会」は、焼津福祉会の事業及び運営に理解と関心を持つ皆様により、後援活動を行っている団体であります。

「支える会」では、毎年度、会費のうちの一定額を焼津福祉会へ寄附し、利用者の支援に役立てていただくほか、年2回、当機関紙「さぽーと」を発行しております。

障がい者施設を取り巻く環境

は、年々厳しさを増してきており、これからも支援の手がますます必要になっていくものと思われまます。

障がい者が自立して共生できる地域社会の実現を目指している焼津福祉会の、更なる発展のためご支援をいただきたく、「支える会」へのご入会をお願いするものであります。

なお、入会につきましては、皆様方のご意思によりまして、随時ご入会をいただいております。是非とも、継続してのご入会をよろしくお願い申し上げます。

平成三十一年一月

寄 贈

焼津グランドホテル開業 50 周年を記念し、株式会社中島屋ホテルズ様から、虹の家に軽自動車を寄付していただきました。利用者さんとの外出や、自主製品の納品などに活用させていただきます。ありがとうございました。



イオン焼津店様より、毎年ぼぶらの園児へのクリスマスプレゼントとして、おもちゃや絵本をいただいています。

園児達は、様々な活動で遊んでいます。ありがとうございました。



◆ 編集後記 ◆

明けましておめでとうございます。本年もどうぞよろしくお願い致します。

さぽ〜と54号は、新しいとりくみをテーマに、昨年を振り返りました。年号が変わるというのは、時代が変わる幕開けのような気がして、特別な感じがしますね。焼津福祉会も時代においていられないよう、皆さんと一緒に前進していきたいと思います。